

あなたの市の**未来カルテ**を提供します。

このままの傾向が継続すると2040年にどのような状況になるのかを予測して、いま何をすべきかを考える材料とします。



未来カルテに掲載する情報(予定)

- ・人口(社人研中位推計をベースとしますが、独自の人口予測をされている場合には、そのデータ(2015、2020、2025、2030、2035、2040の各年の5歳区分ごとの男女別人口予測)をいただいて推計します。)
- ・産業構造(2015、2020、2025、2030、2035、2040(予測))
- ・主要産業の就業者人口予測(農業、医療・福祉、教育・学習支援、建設、製造、公務(予測))
- ・保育・教育関係予測(幼保在籍者、小中学校在籍者、幼保従事者、小中学校教員(予測))
- ・医療・介護関係予測(病床当たり入院者数、医師当たり患者数、介護受給者数、介護老人保健施設定員当たり要介護3以上介護者数、老人福祉介護事業従事者当たり介護受給数(予測)、関係施設建設費用(予測))
- ・道路・公有施設などの維持費予測(公有財産建物床面積、道路延長(現状)。2040年までの維持費(予測)。上水道管延長、下水道管延長、橋りょう面積のデータ提供をいただければ、それぞれの維持費予測を追加して推計します。)
- ・住宅関係予測(住宅数と世帯数の比較、平均住宅年齢、建築年代別の住宅数(予測))
- ・農地関係予測(農業従事者数、農業人口1人当たり耕地面積(予測)。食糧自給率(現状))
- ・林地関係予測(オプション)(伐採適齢期の人工林を活用できた場合の林産物生産量(各市域の人工林の樹種・樹齢データをいただければ予測します。))
- ・地域エネルギー関係データ(再生可能エネルギー種類別供給量、地域エネルギー需要量、エネルギー自給率、エネルギー支出額(現状))
- ・財政予測(歳入、歳出(予測))

2016年度は希望する市について、**無料**でご提供します(2016年4月中に希望のあった市には5月中に発行する予定。なお、2000年以降に市町村合併された市、新設された市については、カルテ作成にお時間をいただく場合があります。)

未来カルテ希望の市は、recpa@chiba-u.jp(担当:中塚)までメールにてお問い合わせください。